

クラウドとの連携によるスマートなユーザビリティ

Smart Usability Through Cloud Integration

CMCサーバー※3

充電情報(充電時間、充電量、エラーなど)を、車両ごとに保管※4

専用ブラウザで 充電状況確認

離れた場所からでもパソコンやスマートフォンで充電状況を確認

※3 Cyclic Multi Charger 用サーバーの略
※4 事前に車両情報と認証カードの登録が必要

車両への充電状態を直感的に把握

Intuitive Understanding Of Charger Status

離れた場所からでもパソコンやスマートフォンで充電状態を確認



くらしに、エネパ!

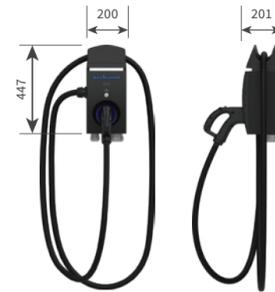
nichicon

エネルギーパフォーマンスを高める会社。

製品構成

(外形寸法:単位 mm)

Product Composition



壁掛け



ロースタンド



トールスタンド

製品仕様

Product Specification

型番	NQR-UC904 シリーズ	
製品形態	セパレート型	
製品構成	電源盤、スイッチャーボックス、ディスペンサ (6 台)	
充電口数	6 口 (ディスペンサ 6 台)	
ケーブル長	5.0m/8.5m(オプション)	
充電規格	CHAdeMO Ver.2.0.2(認証取得済)	
通信プロトコル	OCPP 2.0.1	
充電形態	サイクリック(輪番)充電	
入力	入力電圧	三相 3 線式 AC400V
	入力容量	最大 96kVA
出力	定格出力	90kW (1 口最大 90kW)
	出力電圧	DC150 ~ 450V
出力	出力電流	DC 0 ~ 200A
	IP 等級	IP55
環境	使用温度範囲	-20 ~ +40°C
	電源盤	300kg
質量	スイッチャーボックス	35kg
	ディスペンサ ※5 (1 台当たり)	39kg



スイッチャーボックス



電源盤

※5. ロースタンドの仕様

仕様については予告無く変更することがあります

安全に関するご注意 平成25年3月19日、厚生労働省から「電気自動車の充電器の電磁波による植込み型心臓ペースメーカ等への影響に係る使用上の注意の改定」が示されました。植込み型心臓ペースメーカ等をご利用のみなさまに対し、次のような注意喚起がなされています。(1)電気自動車の急速充電器は使用しないこと。(2)急速充電器を設置している場所には、可能な限り近づかないこと。なお、不用意に近づいた場合には、立ち止まらずに速やかに離れること。(3)電気自動車の普通充電器を使用する場合、充電中は充電ケーブルに密着するような姿勢は取らないこと。詳細は一般社団法人 日本不整脈デバイス工業会のホームページをご確認ください。・記載内容は変更する場合がありますので留意ください。

製造元

ニチコン株式会社

京都市中京区烏丸通御池上 7 604-0845
https://www.nichicon.co.jp/



製品に関するお問い合わせ

ニチコン株式会社

関東・甲信越・東北・北海道 — 東京支店 TEL.03-3666-7811

中部・北陸 — 名古屋支店 TEL.052-223-5581

近畿・中国・四国・九州・沖縄 — 西日本支店 TEL.075-241-5370

販売店

nichicon

EV・PHV 用急速充電器

2025.02

商用EVをスマートに充電

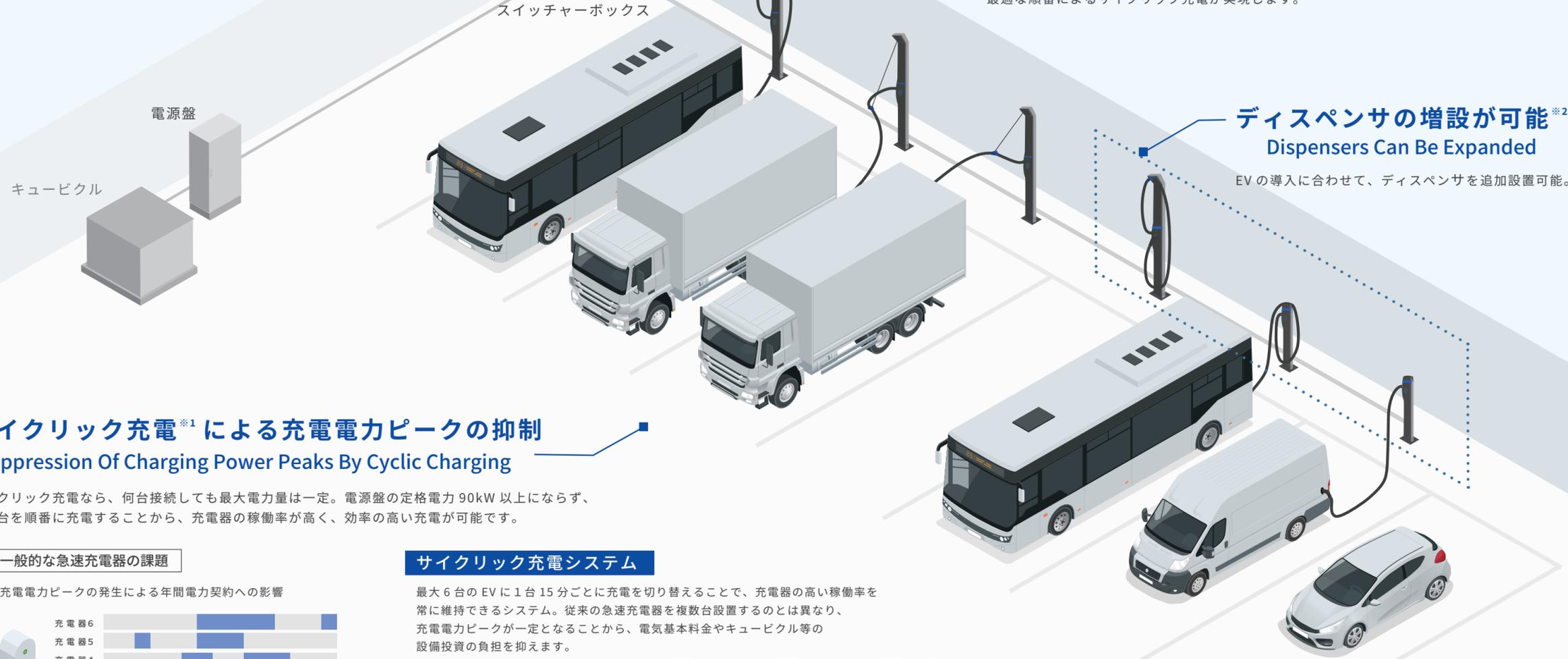
サイクリックマルチ充電器

Cyclic Multi Charger



複数台のEVを充電、スマートかつスリムな急速充電器

最大6台のEVの充電をクラウド側で制御して、サイクリック充電※1を行う急速充電器。電源盤、スイッチャーボックスとディスペンサは独立しており、設置場所に応じて最適な配置が可能。ディスペンサは設置後に増設も可能であり、設置スペース、利用者、導入車両に応じて3タイプから選択が可能で、利用シーンに応じた効率の良い急速充電を実現します。



1台の急速充電器で最大6台のEVを充電可能 A Single Quick Charger Can Charge Up To 6 EVs

一般的な急速充電器は充電車両1台につき1台が必要でしたが、サイクリック充電※1システムなら、1台の急速充電器で最大6台のEVをクラウド側で制御し、最適な順番によるサイクリック充電が実現します。

ディスペンサの増設が可能 Dispensers Can Be Expanded

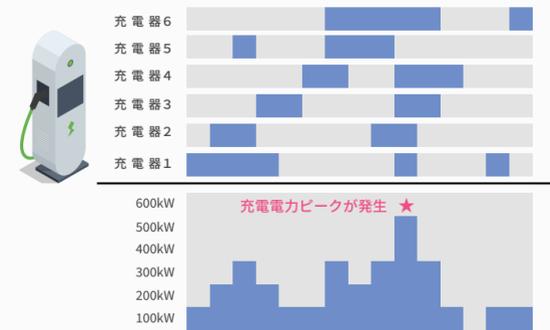
EVの導入に合わせて、ディスペンサを追加設置可能。

サイクリック充電※1による充電電力ピークの抑制 Suppression Of Charging Power Peaks By Cyclic Charging

サイクリック充電なら、何台接続しても最大電力量は一定。電源盤の定格電力90kW以上にならず、複数台を順番に充電することから、充電器の稼働率が高く、効率の高い充電が可能です。

一般的な急速充電器の課題

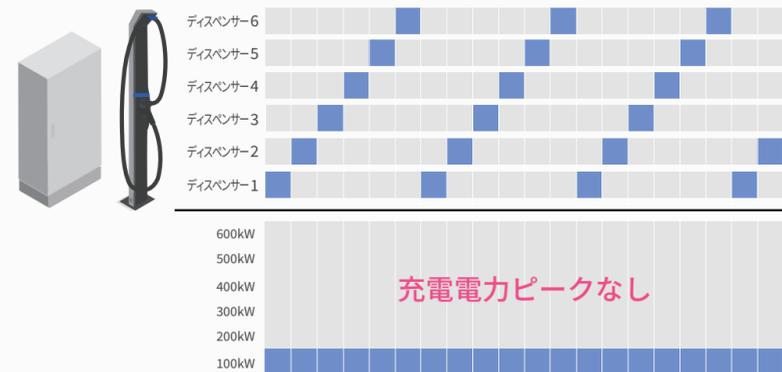
充電電力ピークの発生による年間電力契約への影響



- 充電タイミングにより、充電電力のピークがランダムに発生。
- 充電開始前、充電終了後の充電器は待機中となり、稼働率が低い。
- 充電車両数分の急速充電器が必要

サイクリック充電システム

最大6台のEVに1台15分ごとに充電を切り替えることで、充電器の高い稼働率を常に維持できるシステム。従来の急速充電器を複数台設置するのとは異なり、充電電力ピークが一定となることから、電気基本料金やキュービクル等の設備投資の負担を抑えます。



省スペースとシステム設置の自由度の高さ Space Saving And Flexibility In System Installation

電源盤からスイッチャーボックス間は最大300m、スイッチャーボックスからディスペンサ間は最大100mの設置距離がとれます。また、スリムなディスペンサと組み合わせることで、周辺環境、敷地形状や既存の駐車マスに合わせた最適な設置を実現します。

※1. 最大6台のEV車両に1台15分ごとの輪番充電
※2. 1充電器につき最大6口

3タイプのディスペンサ 3Types Of Dispensers

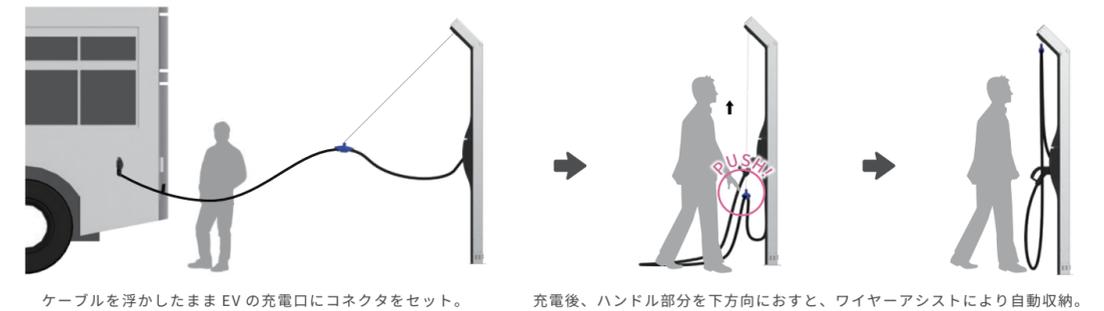
壁掛け、ロースタンド、トールスタンドの3タイプから設置場所に合わせたディスペンサが選択可能。

Slim Smart Sophisticated



ユーザビリティの高いケーブルマネジメント Highly Usable Cable Management

トールスタンド ケーブルを吊るすことで、持ち上げる力をアシストし、容易にケーブルの取り回しが可能。充電後、ワイヤーアシストによる自動収納により、ケーブルをまとめる手間がなくなります。



ロースタンド 太い急速充電用ケーブルを収納しやすいケーブルフック。
壁掛け



全タイプ 収納しやすいコネクタホルダ。

